

大阪市麻しん情報

～医療機関の皆様へ～

現在、日本は麻しんの「排除状態」にあると認定されています。しかし麻しん流行国で感染し、帰国後発症して国内で感染を伝播させる輸入事例が現在も報告されており、今後、海外渡航歴や接触歴のない国内在住者の麻しんの発生リスクが高まることが予想されます。

大阪市をはじめ、全国各自治体では確定診断としてウイルス遺伝子検査(PCR検査)を行っています。麻しんと臨床診断された医療機関様におかれましては、PCR検査の検体として咽頭ぬぐい液・血液・尿の3種(少なくとも2種以上)を確保していただいたうえ、管轄する保健福祉センターに届出をいただきますようお願いします。

検体採取方法などについて、下記のリーフレットに記載していますのでご参照ください。

また、届出基準について下記リンク先に掲載しておりますので、併せてご確認をお願いいたします。

★医療機関向けリーフレットはこちら（「麻しん」「風しん」診断時の対応について）

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/cmsfiles/contents/0000005/5758/R7masin-fusin-iryoukikan.pdf>

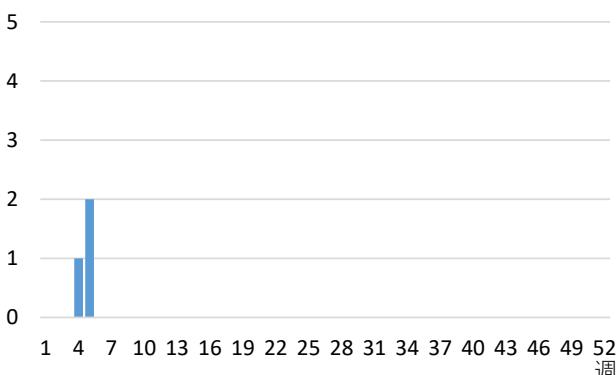
★届出基準・様式はこちら（五類感染症の届出基準・届出様式）

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000014279.html#5-23>

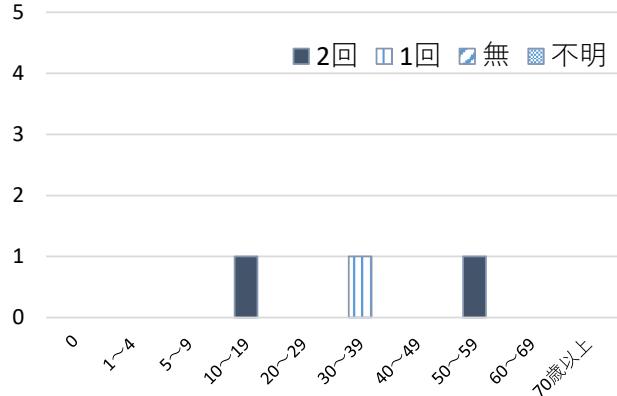
▼2026年第5週に届出のあった麻しん患者の概要

番号	診断週	年代	性別	発症日	遺伝子型別	ワクチン接種歴	推定感染源
2	5	10歳代	女	1月30日	B3	2回	不明
3	5	50歳代	女	1月25日	B3	2回	不明

週別麻しん報告数 2026年(n=3)



年齢群別・接種歴別麻しん累積報告数(n=3)



▼参考情報

年別発生状況

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年(※)
大阪市	0	2	3	8	3
全国	6	28	45	265	23

(※)2026年は第1週から第5週まで(令和7年12月29日から令和8年2月1日)の累積速報値です。

★麻しん(はしか)に注意しましょう

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/000005758.html>